

学年	ページ	行	変更事項	変更内容	備考																				
3年	16～17	絵表	削除 変更	<p>「九九パズルをしよう」の九九の表は、全て記入してある原典教科書 p 31 と同じものを掲載した。なお、表の中の数符を省略し、「枠の中の数符は省略しています。」と入れた。原典教科書の選択肢ウ. エ. を削除し、次のように表した。</p> <p>ラビちゃん「次のア. ～ウ. の数は、何の段にあったかな。○ページの図 1 の九九の表を調べて考えよう。」</p> <p>ア. 6, 9, 12 イ. 36, 45, 54, 63 ウ. 24</p> <p>えいた「ア. の数は3ずつ増えているから…。」 ささね「ウ. の数はいろいろな段にあったね。」</p>	<p>編集の具体的方針(1) (5)</p> <p>単元の初めに九九の表を想起することができるように原典教科書 P31 の九九の表をこの位置に移動し掲載した。</p>																				
	16	表	変更	<p>7の段の九九の表は次のように変更し、2人の児童の会話の後に移動した。</p> <p>かけられる数は、7</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>かける数</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td> </tr> <tr> <td>かけた 答え</td> <td>7</td><td>14</td><td>21</td><td>□</td><td>35</td><td>42</td><td>49</td><td>56</td><td>63</td> </tr> </table>	かける数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	かけた 答え	7	14	21	□	35	42	49	56	63	編集の具体的方針(3)
かける数	1	2	3	4	5	6	7	8	9																
かけた 答え	7	14	21	□	35	42	49	56	63																
	18	表	削除 変更	<p>ゆいの考えとクレアの考えの表を削除し、次のように表した。</p> <p>ゆいの考え</p> <p>$7 \times 1 = 7$ $7 \times 2 = 14$ $7 \times 3 = 21$ $7 \times 4 = 28$</p> <p>かける数が1ずつ増えると答えは□ずつ増える。</p> <p>クレアの考え</p> <p>$7 \times 7 = 49$ $7 \times 6 = 42$ $7 \times 5 = 35$ $7 \times 4 = 28$</p> <p>かける数が1ずつ減ると答えは□ずつ減る。</p>	編集の具体的方針(1)																				
	19	図	変更	(1)の図式を、次のように表した。	編集の具体的方針(1)																				

			<p>7を次の図のように2と□に分ける。</p> $2 \times 6 = 12$ $\square \times 6 = \square$ <p>それぞれの式の答えの12と□を足す。</p> $12 + \square = 42$	
19	図	変更	<p>「発見！」で示されている図式を、次のように表した。</p> <p>例えば、7×6の計算では・・・</p> <p>ア. 7×6の7を2と5に分ける。</p> $2 \times 6 = 12$ $5 \times 6 = 30$ <p>それぞれの式の答えの12と30をたすと42になる。</p> <p>イ. 7×6の6を2と4に分ける。</p> $7 \times 2 = 14$ $7 \times 4 = 28$ <p>それぞれの式の答えの14と28をたすと42になる。</p>	編集の具体的方針(1)
19	図	変更	<p>練習問題2の図式を、次のように表した。</p> <p>9×8の計算</p> <p>9を3と□に分ける。</p> $3 \times 8 = 24$ $\square \times 8 = \square$ <p>それぞれの式の答えの24と□をたすと□になる。</p>	編集の具体的方針(1)
20	1	追加	<p>3.の問題で状況が分かるように「次の図5のようにシールをはりました。」と説明を追加した。</p>	編集の具体的方針(5)
20	図	変更	<p>りなの考えの図式を、次のように表した。</p> <p>10×5の10を2と□に分ける。</p> $2 \times 5 = 10$ $\square \times 5 = \square$ <p>それぞれの式の答えの10と□を足すと□になる。</p>	編集の具体的方針(1)
21	写真	変更	<p>最初に様子分かるように「□に当てはまる数について考えています。」と説明を追加し、黒板の写真については、板書の問題と児童の言葉のみを記載した。</p>	編集の具体的方針(5)
22～23	写真 図	変更	<p>黒板の写真については、(4)、(5)、(6)の問題の後にそれぞれの児童の考えとそれに対する児童の言葉を記載するようにした。また、つばさの考えとゆうこの考えを、次のように表した。</p> <p>つばさの考え</p> $4 \times 9 = 36$ $36 + 4 + 4 + 4 + 4 = 52$ <p>つばさ「ぼくは、4の段を使って考えました。4×9</p>	編集の具体的方針(1) (5)

			<p>は 36 で…」</p> <p>ゆうこの考え</p> <p>次の図のように分けて考えました。</p> $4 \times 10 = 40$ $4 \times 3 = 12$ $40 + 12 = 52$	
24～25	写真	変更	<p>黒板の写真については、板書の内容と児童のセリフのみとし、板書の内容は次のように表した。</p> <p>みんなで3人の考えをまとめています。</p> <p>つばささんは、かける数が1ふえると、答えがかけられる数だけふえるきまりを使った。</p> <p>なおさんは、かけられる数とかける数を入れかえても答えは同じになるきまりを使った。</p> <p>ゆうこさんは、かける数を分けて計算しても答えは同じになるきまりを使った。</p>	編集の具体的方針(5)
26	図	変更	<p>(1)のクレアの考えを、次のように表した。</p> <p>クレアの考え</p> <p>6の段で答えが42になるのは・・・</p> $6 \times \square = 42$	編集の具体的方針(1)
27	写真 2	削除 変更	<p>1. おはじき入れの写真は削除し、問題文に内容が分かるように次の説明を追加した。</p> <p>的に向かっておはじきを投げるおはじき入れをしたら、次の図のようになりました。</p>	編集の具体的方針(5)
27	4～ 8	変更	<p>(1)(2)(3)「表に書きましょう。」という課題は、「調べましょう。」や「考えましょう。」に変更した。</p>	編集の具体的方針(9)
28	図	変更	<p>ラビちゃんのセリフについて、矢印で「2へる」と書かれている部分を言葉で表すため、次のように変更した。</p> <p>ラビちゃん「このように考えてもいいね。</p> $2 \times 2 = 4 \quad 2 \times 1 = 2 \quad 2 \times 0 = 0$ <p>答えは2ずつ減っている。」</p>	編集の具体的方針(1)
29	表 図	削除 変更	<p>「しっかりチェック」(1)の4の段の九九の表を削除し、「4の段の答えは、□ずつ増えます。」と変更した。</p> <p>また、(3)の図は、次のように表した。</p>	編集の具体的方針(1)

			<p>4×5 の 5 を 2 と \square に分ける。</p> $4 \times 2 = \square$ $4 \times \square = \square$ それぞれ式の答えの \square と \square を足すと \square になる。	
29	図	変更	<p>2. (2)の図式を、次のように表した。</p> <p>6×5 の 6 を 2 と \square に分ける。</p> $2 \times 5 = \square$ $\square \times 5 = \square$ それぞれ式の答えの \square と \square をたすと \square になる。	編集の具体的方針(1)
30	図	変更	<p>つばさの考えの図式を、次のように表した。</p> <p>6×13 の 13 を 10 と \square に分ける。</p> $6 \times 10 = \square$ $6 \times \square = \square$ それぞれ式の答えの \square と \square を足すと \square になる。	編集の具体的方針(1)
31	表 図	変更 追加	<p>「九九のふしぎ」について、本文の最後に、本文中で説明されている4個の角の数だけが書かれた九九の表を記載し、4個の角の数を線で結んだ。</p> <p>また、全ての数字が記載された九九の表については、単元の最初に示した図を使用することを伝えるため、「同じように、○ページの図の九九の表を使って、たして100になる4つの数で、…」と変更した。</p>	編集の具体的方針(1)
答え	表	変更	<p>「九九のふしぎ」の答えについても、九九の表は同様の方法で表した。</p>	編集の具体的方針(1)
32	絵	削除 変更	<p>買い物の絵を削除し、次のように表した。</p> <p>りくさんとまみさんが買い物に来ました。お店の商品とねだんは次の通りです。</p> <p>キウイ 375 円 バナナ 95 円 みかん 37 円 さくらんぼ 368 円 マンゴー 468 円 いちご 361 円 りんご 274 円 パイナップル 286 円 びわ 104 円</p> <p>りく「バナナとみかんを買ったときの代金は…。」 まみ「びわとバナナのねだんの違いは…。」</p>	編集の具体的方針(5)
33	説明	追加	<p>そろばんと関係付けて学習することを強調するために、次の文章を追加した。</p>	編集の具体的方針(5) (6)(7)

			この単元では、珠算編2「2たし算・ひき算4 3桁の数のたし算ひき算」を使って、そろばんでの計算の仕方を考えましょう	
34	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>274+361の計算の仕方</p> <p>(1)はじめに100の位を計算します。</p> $200+300=500$ <p>(2)次に10の位を計算します。</p> $70+60=130$ <p>100の位に1繰り上げる。</p> <p>(100の位の答えは600, 10の位の答えは30)</p> <p>(3)次に1の位を計算します。</p> $4+1=5$ <p>(1の位の答えは5)</p> <p>(4)(1)(2)(3)を合わせると $600+30+5=635$</p>	編集の具体的方針(6)
34	筆算	変更	<p>筆算のたし算では1の位から計算するが、点字教科書では珠算との整合性をもたせるために大きい位から計算するように指導する。そのため「発見!」の内容を次のように変更した。</p> <p>3けたと3けたの足し算の計算も、これまでに学習したたし算と同様に、位をそろえて大きい位から順に計算します。</p> <p>筆算では、次のように書いて、1の位から計算します。</p> $\begin{array}{r} 274 \\ +361 \\ \hline \end{array}$	編集の具体的方針(6)
35	図	削除	2. の図は削除した。	編集の具体的方針(1)
35	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>468+375の計算の仕方</p> <p>(1)はじめに100の位を計算します。</p> $400+300=700$ <p>(2)次に10の位を計算します。</p> $60+70=130$ <p>100の位に1繰り上げる。</p> <p>(100の位の答えは800)</p>	編集の具体的方針(6)

			<p>(3)次に1の位を計算します。</p> $8 + 5 = 13$ <p>10の位に1繰り上がる。</p> <p>(10の位の答えは40, 1の位の答えは3)</p> <p>(4)(1)(2)(3)を合わせると $700 + 40 + 3 = 743$</p> <p>(5) $468 + 375 = 743$</p>	
36	筆算	変更	<p>筆算のたし算では1の位から計算するが、点字教科書では珠算との整合性をもたせるために大きい位から計算するように指導する。そのため「発見！」の内容を以下のように変更した。</p> <p>数が大きくなっても、たし算の計算は、これまでに学習した計算と同じように計算します。</p> <p>筆算では、1の位から計算します。</p>	編集の具体的方針(6)
37	筆算	変更	<p>ラビちゃんのセリフの筆算を、横書きの式に変更した。</p>	編集の具体的方針(6)
38	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>438-286の計算の仕方</p> <p>(1)はじめに100の位を計算します。</p> $400 - 200 = 200$ <p>(2)次に10の位を計算します。</p> <p>3から8は引けないので、100の位から1繰り下げる。(100の位の答えは100)</p> $130 - 80 = 50$ <p>(10の位の答えは50)</p> <p>(3)次に1の位を計算します。</p> $8 - 6 = 2$ <p>(1の位の答えは2)</p> <p>(4)(1)(2)(3)を合わせると $100 + 50 + 2 = 152$</p>	編集の具体的方針(6)
38	筆算	変更	<p>筆算の引き算では1の位から計算するが、点字教科書では珠算との整合性をもたせるために、大きい位から計算するように指導する。そのため「発見！」の内容を次のように変更した。</p> <p>3けたと3けたのひき算の計算も、これまでに学習したひき算の計算と同じように、位をそろえて大きい位からじゅんに計算します。</p> <p>筆算では、1の位から順に計算します。</p>	編集の具体的方針(6)






39	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>542-368 の計算の仕方</p> <p>(1)はじめに 100 の位を計算します。</p> $500-300=200$ <p>(2)次に 10 の位を計算します。</p> <p>4 から 6 は引けないので、100 の位から 1 繰り下げる。(100 の位の答えは 100)</p> $140-60=80$ <p>(3)次に 1 の位を計算します。</p> <p>2 から 8 は引けないので、10 の位から 1 繰り下げる。</p> <p>(10 の位の答えは 70)</p> $12-8=4$ <p>(1 の位の答えは 4)</p> <p>(4)(1)(2)(3)を合わせると $100+70+4=174$</p>	編集の具体的方針(6)
40	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図は削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>403-265 の計算の仕方</p> <p>(1)はじめに 100 の位を計算します。</p> $400-200=200$ <p>(2)次に 10 の位を計算します。</p> <p>0 から 6 は引けないので、100 の位から 1 繰り下げる。(100 の位の答えは 100)</p> $100-60=40$ <p>(3)次に 1 の位を計算します。</p> <p>3 から 5 は引けないので、10 の位から 1 繰り下げる。</p> <p>(10 の位の答えは 30)</p> $13-5=8$ <p>(1 の位の答えは 8)</p> <p>(4)(1)(2)(3)を合わせると $100+30+8=138$</p> <p>(5) $403-265=138$</p>	編集の具体的方針(6)
41	筆算	削除 変更	<p>筆算の引き算では 1 の位から計算するが、点字教科書では珠算との整合性をもたせるために、大きい位から計算するように指導する。そのため「発見！」は次のように変更した。</p>	編集の具体的方針(6)

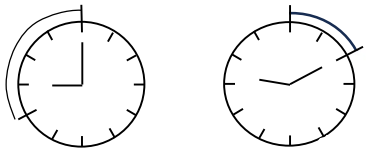
			<p>数が大きくなっても、ひき算の計算は、これまでに学習した計算と同じように計算します。</p> <p>筆算では、1の位から順に計算します。</p>	
42	筆算	削除 変更	<p>「しっかりチェック」の図を削除し、次のように表した。</p> <p>356+278の計算の仕方</p> <p>(1)はじめに100の位を計算します。</p> $300+200=500$ <p>(2)次に10の位を計算します。</p> $50+70=120$ <p>100の位に1繰り上げる。</p> <p>(100の位の答えは600)</p> <p>(3)次に1の位を計算します。</p> $6+8=14$ <p>10の位に1繰り上がる。</p> <p>(10の位の答えは30, 1の位の答えは4)</p> <p>(4)(1)(2)(3)を合わせると $600+30+4=634$</p> <p>(5) $356+278=634$</p>	編集の具体的方針(6)
43	筆算	削除 編集	<p>4. の図を削除し、選択肢を次のように文章で表した。</p> <p>ア. 10の位を計算します。</p> <p>0から8は引けないので100の位から1繰り下げます。10の位は</p> $10-8=2$ <p>イ. 100の位を計算します。</p> $4-1=3$ <p>ウ. $402-185=217$</p> <p>エ. 1の位を計算します。</p> <p>2から5を引けないので、10の位から1繰り下げます。1の位は</p> $12-5=7$	編集の具体的方針(6)
43	筆算	削除 編集	<p>「筆算をかんせいさせよう」の筆算の図を削除し、横書きの式に変更した。なお、□の部分は☼の字で表した。</p>	編集の具体的方針(6)
44	絵 文章	削除 追加	<p>1. の絵を削除した。また、次のような補足をラビちゃんのセリフとして追加した。</p> <p>ラビちゃん「珠算編1の「たし算ひき算の暗算」を使っ</p>	編集の具体的方針(5) (7)

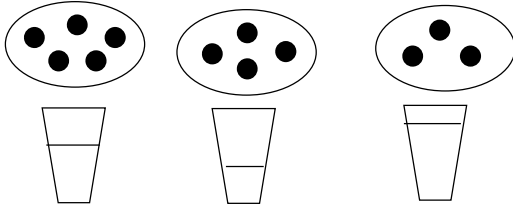
			て、そろばんのたまを動かすように頭の中で計算してみよう。」	
44	セリフ	変更	カルロスのセリフを次のように変更した。 カルロス「25を1と24に分けて、1を39とたして…」	編集の具体的方針(1)
45	写真	削除	「なるほど算数教室」の写真を削除した。	編集の具体的方針(5)
46～47	絵	削除 変更	絵を削除し、次のように表した。 つばささんたちのクラスでは、おじいさん、おばあさんといっしょに遊ぶ「ふれあいあそび」という行事について話し合っています。	編集の具体的方針(5)
47	絵	削除 追加	絵を削除し、児童のセリフのあとに、次の説明を追加した。 次の日、いくつかの候補の中から投票することになりました。	編集の具体的方針(5)
47	2	追加	原典教科書63ページに掲載されているアンケートの結果は、1.の文章を読んですぐに確認できるように、本文の後に記載した。なお、投票したカードは読みやすいように整列させるため、2文字ずつに省略し、凡例を先に示した。 アンケートの結果 けんーけん玉 あやーあやとり おてーお手玉 めんーめんこ かるーかるた なわーなわとび けん こま けん あや おて めん おて こま おて あや けん あや けん あや けん あや こま かる かる けん おて こま あや なわ あや けん あや けん あや おて	編集の具体的方針(5) 凡例については、凡例を丁寧に読む習慣を付けるように指導する。
48	1 図	変更 追加	(1)「『正』の」を点字での正の字の代替となる「『へ』の」と言い換えた。「正」の字の説明図は点図化し、本文の後に「へ」の字の説明を追加した。 数を数えるときに、墨字では「正」という漢字を使	編集の具体的方針(1) 「へ」の字を墨字の「正」の字のように使う際は、数える項目が多い

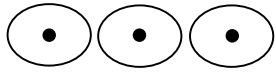
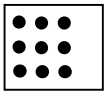

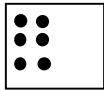

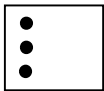

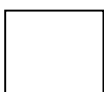
		変更	<p>の絵は削除し、次のように変更した。</p> <p>つばささんのクラスでは、「したい遊び」の結果がまとまりました。</p> <p>りな「2年生のときにつくったシールをはってつくるグラフだと数が多いからたいへんだね。」</p>	
49	グラフ	変更	<p>棒グラフを十分に触察させるため見開きのページで示している。左のページには凡例、右のページには棒グラフを示した。</p> <p>なお、初めて棒グラフに触れる箇所であるため、目もりは数えやすさを考慮し、1.5 cm程度とした。また、棒の中と外を明確にするため、棒の太さは指の太さを基準とし、棒と棒の間は広めにした。</p>	編集の具体的方針(2) 縦軸，横軸，1めもり，単位，裏点等については丁寧に指導する。
49	グラフ	削除 変更	<p>(1)の縦の軸，横の軸の説明のグラフを削除し，次のようにラビちゃんのセリフで表した。</p> <p>ラビちゃん「棒グラフには，縦の軸と横の軸があるよ。調べて確認しよう。」</p>	編集の具体的方針(1)
52	絵	削除 追加	<p>絵を削除し，次の説明を追加した。</p> <p>ある日，ゆいさんはけがをして保けん室に行きました。</p>	編集の具体的方針(5)
52	表	変更	3. の表は，紙面の関係で縦横を入れ替えた。	編集の具体的方針(3)
53	1 表	追加 変更	4. の冒頭において，カルロスとゆいのセリフの前に，「カルロスさんとゆいさんが，けかのぼうしを呼びかける話をしています。」を追加した。また，表は，紙面の関係で縦横を入れ替えた。	編集の具体的方針(5) (3)
53	図	削除 変更	<p>ラビちゃんのセリフの中の図を削除し，ラビちゃんのセリフを次のように変更した。</p> <p>ラビちゃん「29だと目もりの線と線の間になるね。」</p>	編集の具体的方針(1)
54	グラフ	変更	練習問題3の図について，表題，縦の数値や単位，横の名前は入れた状態とし，棒グラフに表わすことだけを問うこととした。なお，棒グラフに関しては，テープなどを用いて，児童が作成できるように目もりの大きさも考慮した。	編集の具体的方針(1) (2)
54	グラフ	変更	練習問題4の図については，表題と色の名前は入れておき，横の数値を入れる口は空欄記号とした。また，棒グラフを作成するため，練習問題3と同様，目もりの大きさに考慮した。	編集の具体的方針(1) (2)


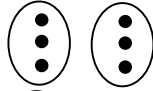

56	2	追加	<p>点図の棒グラフを正確に読み取ることができるようにするために、「発見！」の後に「棒グラフの読み方」という項目を追加した。</p> <p>棒グラフの読み方</p> <p>1. グラフの表題を読む。</p> <p>表題のあとに、長い言葉を短い言葉にした約束事や単位の説明などがあるときには、それぞれの内容を確認しておく。</p> <p>2. 縦の軸と横の軸を確認する。</p> <p>縦の軸、横の軸を触って一目もりの大きさや単位を確認する。学年やものの種類など、単位がないものもあるので注意する。</p> <p>3. 棒グラフを調べる。</p> <p>棒グラフの高さを比べたり、裏線をたどって、軸の目もりの数を読み取ったりする。</p>	編集の具体的方針(2)
57	1	追加	<p>ゆいとカルロスの様子を、次のように表した。</p> <p>ゆいとカルロスは、けが調べについて話し合っています。</p>	編集の具体的方針(5)
57～58	図	追加	<p>p 57(1)および p 58(3)の方眼は、原典教科書の 26 3 ページと同様のものをそれぞれ掲載した。</p>	<p>編集の具体的方針(2)</p> <p>この問いでは、表を作成する活動もあるが、表については、児童が自分で作成できるように指導する。</p>
58	4	変更	<p>方眼をそのまま掲載すると触って読み取れないため、横線のみグラフとした。そのため、「方眼を使って」を「グラフを使って」に変更した。</p>	編集の具体的方針(1)
60	表	変更	<p>2. の表は、紙面の関係で縦横を入れ替えた。</p>	編集の具体的方針(3)
61	表 グラフ 12	変更	<p>たしかめ問題 1 の表は、紙面の関係で縦横を入れ替えた。また、グラフは、表題および種類の名前を入れておき、縦の数値は□とした。さらに、方眼をそのまま掲載すると触って読み取れないため、横線のみグラフとした。そのため、「方眼を使って」を「グラフを使って」に変更した。</p>	<p>編集の具体的方針(2)</p> <p>(3)</p>
63	グラフ	変更 追加	<p>りなのつくりたい棒グラフをア.とし、カルロスをイ.としてそれぞれの棒グラフが表せるようにし、りなのセリフの前に次の文章を追加した。また、いずれのグラフも、表題、横の軸の項目、縦の軸の数値は入</p>	編集の具体的方針(2)

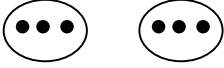


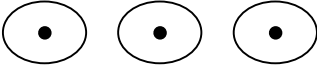
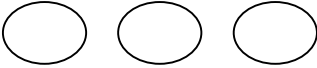
			<p>れておき，目もりの大きさを確保するため，縦は32までとした。</p> <p>○ページのア.イ.のグラフに表しましょう。</p>	
63	絵	削除	<p>遊びのアンケートの結果は，該当の箇所に移動させたため，ここでは削除した。</p>	編集の具体的方針(5)
64	表	変更	<p>「読み取る力をのばそう」の1のグラフで，ウ.の表題は入れておき，イ.の表題のみを問うこととした。</p>	編集の具体的方針(1)
66	絵	削除 変更	<p>「時こくや時間がいえるかな」の絵を削除し，次のように表した。</p> <p>次の図1～図3の時計を見て，それぞれの図のあとにあるセリフの中の時こくか時間を選びましょう。</p> <p>時刻と時間，どちらが正しいかな。</p> <p>図1 朝起きました。</p>  <p>りな「朝起きた（時こく，時間）は午前□時だね。」</p> <p>図2</p> <p>朝ご飯を食べ始めました。</p>  <p>食べ終わりました。</p>  <p>カルロス「朝ご飯を食べ始めてから食べ終わるまでの（時こく，時間）は□分だね。」</p> <p>図3 学校に向かって家を出ました。</p>  <p>学校につきました。</p>  <p>ゆうと「家を出てから学校につくまでは□分，朝起きてから学校につくまでは□時間だね。」</p>	編集の具体的方針(1) (5)

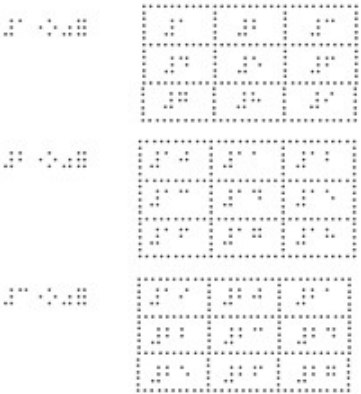
			ラビちゃん「時こくや時間について、もっと考えていこう。」	
67	絵	削除 追加	絵を削除し、次の文章を追加した。 公園、図書館、ゆうびん局の順で行くことになりました。	編集の具体的方針(5)
68～69	図	削除	両ページ上部の時間を表す数直線は、本文中の数直線で代用できるため削除した。	編集の具体的方針(5)
68	図	変更	(1)の時計の図は、10分後の図にかかっている出発時の長針は示さず、次のように表した。 <u>これ以降、時間を表す図を、同様に変更した。</u>	編集の具体的方針(1)
				
68	図	削除 変更	算数たまたまばこの筆算の図を削除し、「右のようにしもとめることもできます。」を次のように変更した。 40分に30分を足して70分です。70分は1時間と10分だから8時40分から30分たった時こくは、9時10分です。	編集の具体的方針(6)
69	絵	削除 変更	2.の絵は削除し、時計の図は、ア.図書館に着いた時こく、イ.図書館を出た時こくとして示した。	編集の具体的方針(1) (5)
69	図	追加	ラビちゃんのイメージ図に次のセリフを追加した。 ラビちゃん「まっすぐな線で考えると…」	編集の具体的方針(1)
71	写真	削除 追加	こまをまわそうとしている写真を削除し、次の文章を追加した。 ケンさんとなぎさんがコマをまわそうとしています。	編集の具体的方針(5)
71	写真	削除 変更	(1)の写真を削除し、時計の説明を、次の文章で表した。 時計には、文字盤と時間を表す短い時針、分を表す長い分針、秒をあらわす秒針があります。また、文字	編集の具体的方針(5) 1分間を計る場合には、時計の秒針の音を聞いたり、カウントダウン機能のあるタイマーやアプリ

			盤には、小さいめもりが 60 個あり、一つのめもりは 1 秒を表します。秒針が 1 周すると 60 秒です。	を使ったりして指導を工夫する。また、携帯型の点字情報端末の時計やストップウォッチの機能も利用できる。
73	絵	削除 変更	<p>いろいろな仕事の絵を削除し、次のように表した。</p> <p>いろいろな仕事のお話をきいてみよう！</p> <p>かっこは、かかる時間です。体験のあるものは、かかる時間と開始時刻を示しています。</p> <p>ア.パイロット (10 分)</p> <p>イ.医者 (20 分)</p> <p>ウ.けいさつかん (10 分)</p> <p>エ.しょうぼうし (10 分)</p> <p>消火たいけん (25 分) 午後 2 時の回</p> <p>オ.電車の運転し (10 分)</p> <p>運転たいけん (20 分) 午後 1 時 30 分と、午後 2 時 30 分の 2 回</p> <p>カ.シェフ (15 分)</p>	編集の具体的方針(5)
74	絵	削除 変更	<p>導入部の絵を削除し、次のように表した。</p> <p>(兄弟と分けると)</p> <p>まさきさんは、兄弟 3 人で焼きそばとお茶を分けました。高校生のお兄さんは大きなお皿とコップにたくさん分けました。中学生のお姉さんは中くらいのお皿とコップに分けました。小学生のまさきさんは小さなお皿とコップに分けました。</p> <p>まさき「みんなちょうどいいりょうになっているね。」</p> <p>(友だちと分けると)</p> <p>そうすけさんとしんごさんとみはるさんの 3 人で図 1 のようにクッキーとジュースを分けました。</p> <p>そうすけ「ジュースのりょうがみんなちがうね。」</p> <p>しんご「クッキーの数もばらばらだよ。」</p> <p>みはる「なかよく分けるにはどうしたらいいかな。」</p> <p>図 1</p> 	編集の具体的方針(5)



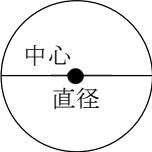
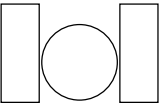
	75	絵	削除 変更	絵を削除し，次のように表した。 12個のいちごを，なぎさんとゆずさんとかなたさんの3人で分けることにしました。 なぎ「いちごが12こあるよ。」 かなた「3人で同じ数ずつ分けよう。」 ゆず「1こずつとったよ。」 かなた「1人分は何こになるのかな。」	編集の具体的方針(5)
	75	6 絵	変更 削除	ラビちゃんのセリフを「皿に分けてみよう。」とし，皿の絵を削除した。	編集の具体的方針(5) 実際におはじきやブロックと皿を準備して分ける活動をするのが望ましい。
	76	図	変更	りなの考えで，3人に分けているイメージ図を削除し，分けたことが具体的にイメージできるように前述した名前を活用し触察して分かりやすい図で表した。 りなの考え 図2 一人分 なぎ ゆず かなた のこり 1個   2個   3個   4個   答え 4個	編集の具体的方針(1)
	76	図	変更	青囲みの中の最後の式に，何を表しているかが書かれている図式を，次のように表した。 <u>これ以降，同様の図式は同じように示した。</u> $12 \div 3 = 4$ 12—全部の数 3—何人分 4—1人分の数	編集の具体的方針(1)
	77～78	図	削除 追加	p77の最後の図はp78の冒頭と同じため削除し，この図をラビちゃんのセリフと式で次のように表し	編集の具体的方針(1)


			<p>た。</p> <p>ラビちゃん「1人分の数×何人分の数×全部の数で考えるといいね。」</p> <p>1人分が1個のとき $1 \times 5 = 5$</p> <p>1人分が2個のとき $2 \times 5 = 10$</p> <p>1人分が3個のとき $3 \times 5 = 15$</p> <p>1人分が4個のとき $4 \times 5 = 20$</p> <p>1人分が5個のとき $5 \times 5 = 25$</p>	
79	絵	削除 変更	<p>導入部の絵を削除し、次のように表した。</p> <p>ささねさんとかなたさんとえいたさんがいちごを分けようとしています。</p> <p>ささね「いちごが12こあるよ。」</p> <p>かなた「3こずつ分けよう。」</p> <p>えいた「何人分あるのかな。」</p>	編集の具体的方針(5)
80	図	削除 変更	<p>(2)の図を削除し、次のように表した。</p> <p>つばさの考え</p> <p>配った数</p> <p>残り</p> <p>1人目に </p> <p>配ると</p> <p>2人目 </p> <p>3人目 </p> <p>4人目 </p> <p>答え 4人</p>    	編集の具体的方針(1)
81	図	削除	<p>青囲みの中で枠で囲まれた図式は、文章の説明と同じ意味であるため削除した。</p>	編集の具体的方針(1)
82	図	削除 変更	<p>図を、次のような文章で表した。</p> <p>1人分の数×何人分の数=全部の数</p> <p>5まいずつが1人分で $5 \times 1 = 5$</p> <p>5まいずつが2人分で $5 \times 2 = 10$</p> <p>5まいずつが3人分で $5 \times 3 = 15$</p> <p>5まいずつが4人分で $5 \times 4 = 20$</p>	編集の具体的方針(1) (5)
83	図	変更	<p>(1)のゆうとの考えとクレアの考えの図を、次のように表した。</p>	編集の具体的方針(1)

			<p>ゆうとの考え</p> <p>6個を2人で分ける。</p> <p>1人分の数$\times 2 = 6$</p> <p>1人分は3個</p>  <p>クレアの考え</p> <p>6個を2個ずつ分ける。</p> <p>$2 \times \text{何人分} = 6$</p> <p>3人に分けられる。</p> 	
84	絵	削除 変更	<p>1. の絵を削除し、次のように表した。</p> <p>ケーキが6個、3個、0個のときの1人分の数を求める式を書きましょう。</p> <p>ア. 箱の中のケーキが6個のとき $\square \div \square = 2$</p> <p>イ. 箱の中のケーキが3個のとき $\square \div \square = 1$</p> <p>ウ. 箱の中のケーキが0個のとき $\square \div \square = 0$</p> <p>ア.</p>  <p>イ.</p>  <p>ウ.</p> 	編集の具体的方針(5)
88	絵	削除 追加	<p>絵を削除し、矢印の後の絵を、次のように表した。</p> <p>まきさんは、15このあめを分けることにしました。 まき「3こずつ分けるとして、何人に分けられるかもとめる計算だから・・・」</p> <p>みらいさんは、18このあめを分けることにしました。 みらい「18このときも同じように考えて、式は… \squareのだんの九九を使って計算できたから…」</p>	編集の具体的方針(5)
91	図	変更	(3)で枠の中に式が並んでいる図について、上方の	編集の具体的方針(1)

			<p>わられる数，わる数，あまりという吹き出しを削除し，次のようにラビちゃんのセリフとした。</p> <p>ラビちゃん「順に変わっているのがわられる数で，4はわる数，□はあまりだよ。」</p>	
99	絵	変更	<p>「学んだことを生かそう」の積み木の並べ方を表した絵が見取り図であるため，次のように，上から見た図に変更し，1段目から順に示した。</p> 	編集の具体的方針(1)
100	3	変更	<p>見通しをもって文章を読めるよう，「ゆうきさんたちは，おはじき取りゲームをしています。」について，登場人物を最初に明記して「ゆうきさん，わたるさん，かほさん，ともきさんは，おはじき取りゲームをしています。」に変更した。</p>	編集の具体的方針(9)
100 101	表	変更	<p>「プログラミングにちょうせん」のわたるさんとの勝負とかほさんとの勝負の表は，問題の把握をスムーズにするために(1)の問題の中に移動させた。同じように，ともきさんとの勝負の表も(3)の問題の中に移動させた。</p> <p>それに伴い，「ともきさんとの勝負では，ゆうきさんは，おはじきをどのように取りましたか。」を「あとのともきさんとの勝負で，ゆうきさんは，おはじきをどのように取ればよいかを考えましょう。」に変更した。</p>	編集の具体的方針(9)
103	6	変更	<p>(1)の「自分の考えをノートにかきましょう。」を「次の方眼を使って考えましょう。」に変更した。</p>	編集の具体的方針(9)
104	図	変更	<p>黒板に貼られた図は，分かりやすくするために次のように記号を付け，その後にそれぞれの図を示した。</p> <p>ア．4人のとき イ．8人のとき ウ．12人のとき</p>	編集の具体的方針(1)

			エ. 16人のとき	
105	写真 1	削除 変更	2. は、原典教科書ではテープを使って円をかくようになっているが、ぶんまわしを使うように示した。 「263 ページのテープ」およびラビちゃんのセリフの中の「テープ」をいずれも「ぶんまわし」に変更した。また、めあてを「ぶんまわしを使ってまるい形をかこう。」に変更した。	編集の具体的方針(10) ぶんまわしの使い方については、編集資料の3教材・教具を参考にして指導する。
105	14	変更	練習問題1の「263 ページのテープ」を「ぶんまわし」に変更した。	編集の具体的方針(10)
106	1 図	変更	3. の円の図については、原典教科書263ページにかかっている図と同じ大きさ(直径8cm)の図を示した。また、問題文を次のように変更した。 次の図9の円と同じ大きさの紙の円を用意し、半径の長さを考えましょう。	編集の具体的方針(9) 指導の際は、直径8cmの円を用意する。
106	写真 図	削除 変更	(1)の円を折っている写真は削除した。また、折り目が増えていく様子について、左から ア. おりめ1本 イ. おりめ2本 ウ. おりめ3本 という言葉を追加して点図で表した。	編集の具体的方針(1) (5)
107	絵	削除	「算数たまたまばこ」の絵とラビちゃんのセリフを削除した。	編集の具体的方針(5)
108	写真	削除	円のかき方の写真は全て削除し、文章のみで示した。	編集の具体的方針(10) コンパスの使用については、本単元の導入前に、自立活動などの時間に指導しておくとうい。
110	絵	削除 変更	6. の絵を削除し、道路と主要な建物のみに簡略化し、原典教科書原寸通りの配置で点図化した。	編集の具体的方針(5)
110	図	削除	(1)の図からコンパスを削除し、直線のみを示した。	編集の具体的方針(5) 指導の際は、レーズライター用紙などの代替教材に直線を引いたものを提示し、課題に取り組みせるようにするとよい。
111	絵	削除 変更	練習問題9については、学習に必要な陸と海の境界のみに簡略化して海は裏点とした。点サ～セは原典教科書原寸通りの配置とした。また、問題の最初に、次の文章を追加した。	編集の具体的方針(1) (5)

			次のページの図の地図にたからがうまっている場所が3つあります。	
112	写真	削除 変更	導入部の写真を削除し、1. の文章を次のように変更した。 缶、テニスボール、ラグビーボール、野球のボール、ドッジボール、たまごといった丸い形があります。これらについて調べましょう。	編集の具体的方針(5)
112	写真	削除 編集	(1)のラビちゃんがイメージしている写真を削除し、次のように真上から見た図と正面から見た図で表した。 これ以降、立体を表す図については同様に表す。 ラビちゃん「缶を真上や正面から見ると…。」 上から見た図  正面から見た図 	編集の具体的方針(1) (5) 指導の際は、実際に立体を用意し、十分触察させながら、図を確認する時間を設ける。
112	写真	削除 変更	(2)は、球を切った時の形を認識するため、正面から見た図を先に示した。そして、それに対応する切り口を強調して表すため、「上から見た切り口」として表現した。	編集の具体的方針(1) (5)
112	図	削除 変更	1. の球を半分に切った図を削除し、切り口のみを点図化した。 	編集の具体的方針(1)
112	写真	変更 追加	練習問題1の写真を点図化し、次のラビちゃんのセリフを追加した。 ラビちゃん「2個の箱で球を挟んでみたよ。」 	編集の具体的方針(5)
113	図	変更	3. の図は、真上から見た様子を点図化した。	編集の具体的方針(1)

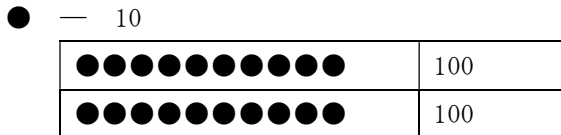
			 たて よこ	
114	図	変更 追加	<p>4. (1)の図は、3個の円が並んでいることを触察で分かるような大きさの円で表した。しかし、(2)では、円が8個並んでいるため、紙面に入る大きさの図にすると円が小さくなり分かりにくい。そこで、ラビちゃんのセリフを次のように追加して説明を加えた。</p> <p>ラビちゃん「円が8個並んでいるね。」</p>	編集の具体的方針(1)
114	図	変更 削除	<p>5. の図は、図から書き方が理解できるように次のように簡略化した。また、右側の方眼を削除した。</p>	<p>編集の具体的方針(1) ここで基本の書き方をおさえておくと、次のこんなもようかけるかなにつながる。</p>
114	図	変更	<p>「こんなもようもかけるかな」では掲載されている図が複雑なため、原典教科書5. の図を掲載した。</p>	<p>編集の具体的方針(1) 実際に作図させるのが複雑で難しい場合は、5. のもようのかき方を想起しながらかき方を考えることができるように指導する。</p>
115	図	変更	<p>4の図式を、次のように表した。</p> <p>1. 9×6 の計算 9×6 の9を5と□に分けます。 $5 \times 6 = \square$ $\square \times 6 = \square$ それぞれの式の答えを合わせると□です。</p>	編集の具体的方針(1)
117	文章	追加	<p>そろばんと関係付けて学習することを強調するために、次の文章を追加した。</p> <p>この単元では、主に珠算編3「3かけ算 1. かけ算(1)」を使って、そろばんでの計算の仕方考えましょう。</p>	<p>編集の具体的方針(6) (7)</p>
116	絵	削除 変更	<p>導入部の絵を削除し、次のように表した。</p> <p>まさきさんといろはさんはフリーマーケット会場に来ました。</p>	編集の具体的方針(5)

			<p>シール 20円 かさ 473円 コップ 312円 消しゴム 23円 えん筆 32円 ぼうし 253円 マグネット 72円 スーパーボール 8円 クリップ 29円 まさき「8円のスーパーボールを3こ買うと代金は…。」 いろは「シールを3まい買うと…」</p>	
120	絵 図	削除 変更	<p>黒板の前で説明している絵を削除し、ゆうとの考えとクレアの考え、カルロス、りな、先生のセリフのみとした。</p> <p>また、クレアの考えの図式の部分は、「32×3の32を30と2に分ける。」とした。</p>	編集の具体的方針(1) (5)
120	図	変更	<p>32×3の説明の図を、次のように表した。</p> <p>32×3の32を30と2に分ける。 $30 \times 3 = 90$ $2 \times 3 = 6$ それぞれの式の答えの90と6をたすと96</p>	編集の具体的方針(1)
121	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。また、ラビちゃんのセリフは、筆算での方法であるため削除した。</p> <p>32×3の計算の仕方 (1)はじめに10の位を計算します。 $3 \cdot 3$が9 10の位は9になる。 (だから10の位の答えは90) (2)次に1の位を計算します。 $2 \cdot 3$が6 1の位は6になる。 (だから1の位の答えは6) (3)(1)(2)を合わせると $90 + 6 = 96$ (4) $32 \times 3 = 96$ 筆算では、次のように書いて、1の位から計算します。</p> $\begin{array}{r} 32 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$	編集の具体的方針(6)
122	図	削除	(1)の図式を、次のように表した。	編集の具体的方針(1)

		変更	<p>29×3の計算の仕方</p> <p>29×3の29を20と9に分ける。</p> <p>$\square \times 3 = \square$</p> <p>$\square \times 3 = \square$</p> <p>それぞれの式の答えの□と□をたすと□になる。</p> <p>$29 \times 3 = \square$</p>	
122	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>29×3の計算</p> <p>(1)はじめに10の位を計算します。</p> <p>3・2が6 10の位は6になる。</p> <p>(2)次に1の位を計算します。</p> <p>3・9 27 1の位は27</p> <p>10の位に2繰り上げる。</p> <p>10の位は6と繰り上げた2で8になる。</p> <p>(だから10の位の答えは80)</p> <p>1の位は7になる。</p> <p>(だから1の位の答えは7)</p> <p>(3)合わせると $80+7=87$</p> <p>(4) $29 \times 3 = 87$</p>	編集の具体的方針(1) (6)
123	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>72×3の計算</p> <p>(1)はじめに10の位を計算します。</p> <p>7・3 21</p> <p>100の位に2繰り上げる。10の位の答えは1</p> <p>(だから100の位の答えは200, 10の位の答えは10)</p> <p>(2)次に1の位を計算します。</p> <p>2・3が6 1の位の答えは6</p> <p>(3)(1)(2)を合わせると $200+10+6=216$</p> <p>(4) $72 \times 3 = 216$</p>	編集の具体的方針(1) (6)
123	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>72×6の計算の仕方</p> <p>(1)はじめに10の位を計算します。</p> <p>7・6 42</p>	編集の具体的方針(1) (6)

			<p>100の位に4繰り上げる。10の位の答えは2 (だから100の位の答えは400)</p> <p>(2)次に1の位を計算します。 $2 \cdot 6 = 12$</p> <p>10の位に1繰り上げる。 10の位は2と繰り上げた1で3になる。 (だから10の位の答えは30)</p> <p>1の位は2になる。 (だから1の位の答えは2)</p> <p>(3)(1)(2)を合わせると $400 + 30 + 2 = 432$</p> <p>(4) $72 \times 6 = 432$</p>	
124	図	削除 変更	<p>めあての図および図式を、次のように表した。</p> <p>312×3の計算</p> <p>312×3の312を300と10と2に分ける。</p> <p>$\square \times 3 = \square$</p> <p>$10 \times 3 = \square$</p> <p>$2 \times 3 = \square$</p> <p>それぞれの式の答えの□と□と□をたすと□になる。</p> <p>$312 \times 3 = \square$</p> <p>答え□</p>	編集の具体的方針(1)
125	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>312×3の計算の仕方</p> <p>(1)はじめに100の位を計算します。 $3 \cdot 3$が 9 (だから100の位の答えは900)</p> <p>(2)次に10の位を計算します。 $1 \cdot 3$が 3 (だから10の位の答えは30)</p> <p>(3)次に1の位を計算します。 $2 \cdot 3$が 6 (だから1の位の答えは6)</p> <p>(4)(1)(2)(3)を合わせると $900 + 30 + 6 = 936$</p> <p>(5) $312 \times 3 = 936$</p>	編集の具体的方針(1) (6)
125	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>253×3の計算の仕方</p> <p>(1)はじめに100の位を計算します。 $2 \cdot 3$が 6</p>	編集の具体的方針(1) (6)

			<p>(2)次に10の位を計算します。</p> $5 \cdot 3 \quad 15$ <p>100の位に1繰り上げる。10の位は5 (だから100の位の答えは700, 10の位の答えは50)</p> <p>(3)次に1の位を計算します。</p> $3 \cdot 3 \text{ が } 9 \text{ (だから1の位の答えは9)}$ <p>(4)(1)(2)(3)を合わせると $700+50+9=759$</p> <p>(5) $253 \times 3 = 759$</p>	
126	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>309×5の計算の仕方</p> <p>(1)はじめに100の位から計算します。</p> $3 \cdot 5 \quad 15$ <p>1000の位に1繰り上げる。100の位は5になる。 (だから1000の位の答えは1000、100の位の答えは500)</p> <p>(2)次に10の位を計算します。</p> $0 \cdot 5 \quad 0$ <p>10の位は0になる。</p> <p>(3)次に1の位を計算します。</p> $9 \cdot 5 \quad 45$ <p>10の位に4繰り上げる。10の位は0と繰り上げた4で4になる。1の位は5になる。(だから10の位の答えは40、1の位答えは5)</p> <p>(4)(1)(3)の答えを合わせると</p> $1000+500+40+5=1545$ <p>(5) $309 \times 5 = 1545$</p>	編集の具体的方針(1) (6)
126	筆算	削除 変更	<p>算数たまたまばこの筆算の図は削除し、2458×3は横書きの式にした。</p>	編集の具体的方針(6)
128	図	削除	<p>(3)の言葉の式について、最初の2つの式は、(1)(2)で出てきたア. イ. の式なので削除した。</p>	編集の具体的方針(1)
130	筆算	削除 変更	<p>「しっかりチェック」の筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>63×4の計算の仕方</p> <p>(1)はじめに10の位を計算します。</p> $6 \cdot 4 \quad 24$ <p>100の位に2繰り上げる。10の位の答えは4</p>	編集の具体的方針(1) (6)

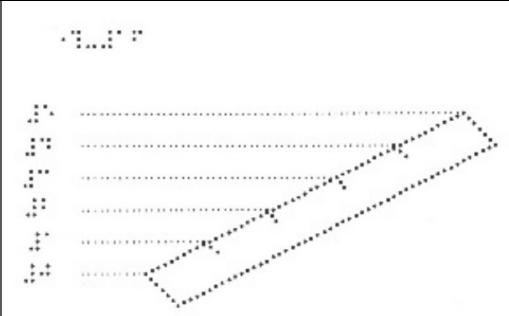
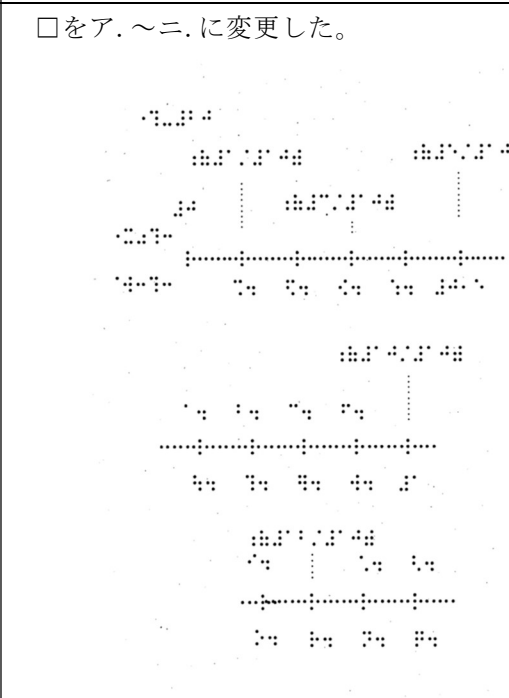
					
143	図	変更	<p>2. (1)の図式を，次のように表した。</p> <p>32×10 の 32 を 30 と 2 に分ける。</p> <p>$30 \times 10 = 300$</p> <p>$2 \times 10 = 20$</p> <p>300 と 20 をたすと 320 になる。</p>	編集の具体的方針(1)	
144	図	変更	<p>「さらに考えよう」の位取りの図について，右の「10倍」「100倍」「1000倍」を次のように言葉で表した。</p> <p>32 の 100 倍 — 3200</p> <p>32 の 1000 倍 — 32000</p>	編集の具体的方針(1)	
144	写真	削除 追加	<p>「算数たまたまばこ」の写真を削除し，次のように表した。</p> <p>町の中のポスターやちらしには，大きな数がのっています。例えば，板橋区のリサイクルのちらしには，食品用トレイ，267万枚をかいしゅうしたと書いてあります。また，ひまわり畑の宣伝のヒマワリウィーク 2022 のポスターには，20000株のひまわりがあると書いてあります。</p>	編集の具体的方針(5)	
145	図	変更	<p>1. の図は，10を●で表し，矢印を削除した。</p> <p>また，ラビちゃんのセリフの図式を，次のように表した。</p> <p>ラビちゃん「200を10でわると20になり，20を10倍すると200になるよ。」</p>	編集の具体的方針(1)	
147	2	追加	<p>「しっかりチェック」に，次の文章を追加した。</p> <p>次の図の数について答えましょう。</p>	編集の具体的方針(9)	
149	絵 写真	削除	<p>世界地図や写真などを削除し，文字情報のみを示した。</p>	編集の具体的方針(5)	
150	写真	変更 追加 削除	<p>体温計や水筒の写真を削除し，それぞれの数値をラビちゃんのセリフの後に次のように表した。なお，単位のないものは，単位も追加した。</p> <p>水とう 0.5L</p>	編集の具体的方針(5)	

			体温計 36.4℃ 上ぐつ 21.5 cm EE ポールペンの芯の太さ 0.7 mm まきじゃく 3.5m	
151	6 絵	変更 削除	1. の文章の冒頭に、「だいちさんの水とうに入る水のかさは次の図のようになりました。」を追加した。 また、1Lますの絵を、平面的な点図とし、水の部分を小点で埋めた。また、水がますのどこまで入っているか分かりやすくするため、水面の部分をますの外に引き出した。 この單元ではこれ以降、水の部分は小点で埋めた。	編集の具体的方針(1) (5)(9)
151	図	削除 変更	(1)に前出の部分拡大図があるが、内容が同じなので削除し、前出の図を参照するようにした。その場合、目もりを実際に付けることが困難なため、「1Lますに目もりをつけましょう。」を「1Lマスの目もりの付け方を考えましょう。」に変更した。	編集の具体的方針(1)
152	図	変更	0.1Lの説明の青囲みの中の図は、目盛りを読み取りやすくするために目もりはマスの外に出して表した。 <u>これ以降、読みやすくするために目もりは外に出すようにした。</u>	編集の具体的方針(1)
153	絵	変更	ものさしの絵は実寸大の図で示した後、拡大図を示し、目もりを読みやすくした。	編集の具体的方針(1) (5)
154	写真	削除 変更	「算数たまたまばこ」の写真を削除し、次のように表した。 電気ポットには、1.0LとMAXの1.2Lの目もりがあります。太陽光発電システムには0.8kWの表示が出ています。	編集の具体的方針(5)
155	図	削除 変更	青囲みの中の図を削除し、位取りは次のように引き出し線で示した。 $\begin{array}{c} 2.6 \\ \vdots \\ \text{小数第1位} \\ \vdots \\ 1\text{の位} \end{array}$	編集の具体的方針(1)
156	4	変更	(2)は、図に書き込むことが難しいため、「↑を書きましょう。」を「しるしをつけましょう。」に変更した。	編集の具体的方針(9)

			この単元では数直線にかき込む課題を、同様に変更した。	
161	1	追加	そろばんと関係付けて学習することを強調するために、次の文章を追加した。 この単元では、珠算編1の「2たし算・ひき算 2小数のたし算・ひき算」を使って、そろばんでの計算の仕方を考えましょう。	編集の具体的方針(6) (7)
161	筆算	削除 変更	筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。 3.5+2.8の計算の仕方 整数のたし算と同じように計算します。 (1)はじめに1の位の計算をします。 3+2=5 (2)次に1/10の位を計算します。 5+8=13 1の位に1繰り上がる。 1の位は5と繰り上げた1で6になる。 (だから1の位の答えは6) 1/10の位は3になる。 (だから1/10の位の答えは0.3) (3)(1)(2)を合わせると6+0.3=6.3 (4)3.5+2.8=6.3	編集の具体的方針(6)
161	筆算	削除 変更	「さらに考えよう」の筆算の図を削除し、すべて横書きの式にした。 12.6+5.4=18.0 (0を消す) 6.9+4=10.9	編集の具体的方針(6)
163	筆算	削除 変更	筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。 6.3-4.7の計算の仕方 整数のたし算と同じように計算します。 (1)はじめに1の位の計算をします。 6-4=2 (2)次に小数第1位を計算します。 3-7はできないので、10の位から1繰り下げる。 (だから1の位の答えは1) 13-7=6	編集の具体的方針(6)

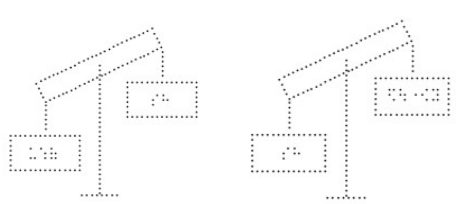
			<p>小数第1位は6になる。 (だから小数第1位の答えは0.6) (3)(1)(2)を合わせると $1 + 0.6 = 1.6$ (4) $6.3 - 4.7 = 1.6$</p>	
165	筆算 7	変更	<p>「しっかりチェック」④の筆算の仕方の説明と図を削除し、次のように表した。</p> <p>(1)はじめに1の位の計算をする。 $3 + 1 = \square$ (2)次に小数第1位を計算する。 $2 + 5 = \square$ (だから小数第1位の答えは□) (3)(1)(2)を合わせる。 $3.2 + 1.5 = \square$</p>	
170	絵	削除	<p>まきじゃくのイラストや使っている様子を表した絵を削除した。</p>	<p>編集の具体的方針(5) 原典教科書にある絵や文章をもとに、実物を触察したり、使用したりしてみる必要がある。 また、測るときには、壁に沿って、端を0に合わせたり、折り曲げたりしてまきじゃくのよさが分かるように指導する。</p>
171	写真	変更	<p>長さ調べの様子を示す写真と調査表の例を削除し、次のように児童のセリフで表した。</p> <p>ひなた「まきじゃくは、木の幹のようにまるい物をはかるときにべんりだね。」 れいな「わたしはサッカーゴールのはばを測ったよ。最初は5mくらいかなと見当をつけて測ったら、5m9cmだったよ。」</p>	<p>編集の具体的方針(5)</p>
172 ~173	絵	変更	<p>絵地図は簡略化して点図化した。活動や練習問題の中に、原典教科書に見開きで表されている地図全体をつなげて考える問題がないことから、左ページの図と右ページの図に分けて、上下に掲載した。</p>	<p>編集の具体的方針(1)</p>
172	絵	変更	<p>青囲みの中の絵地図は簡略化して点図化した。また、道のりと距離の点種の違いを示すため、次のような言葉を追加した。</p>	<p>編集の具体的方針(1) (5)</p>


			ラビちゃん「この単元では、道のりは……，距離は……の線で表してあるよ。」	
173	図	変更	(4)のラビちゃんのイメージ図を，次のように表した。 ラビちゃん「1200mは1000mと200mに分けられるね。」	編集の具体的方針(13)
176	図	変更	元のテープの長さを先に示し，下に等分したものを示した。	編集の具体的方針(1)(4)
178	6	変更	練習問題2は，色をぬることができないため，次のように変更した。 次の1. 2. の長さだけ，図に印をつけましょう。	編集の具体的方針(9)
179	図	変更	水のかさを表す絵で，目もりを読み取りやすくするために目もりはマスの外に出して表した。水の入っているところは，小点で埋めた。この単元ではこれ以降同様とする。	編集の具体的方針(1)
180	図	削除追加	3/5を表す図を削除し，次の説明を追加した。 3/5の5は，もとの大きさを5等分したことを表し，3はその3つ分という意味です。	編集の具体的方針(1)
180	9	変更	練習問題7は，色をぬることができないため，印をつける課題に変更した。	編集の具体的方針(9)
181	2 絵	削除 変更	作業の様子を表す絵を削除し，作業手順を次のように表した。 体育館の板の目を使った「1/5ものさし」づくり 1 基準の板の目を決めて，そこを次の図のように0にする。 2 1mの紙テープの左上の角を0に合わせる。 3 0から板の目を数えて5個目のところに，紙テープの右上の角を合わせる。 4 0から1個目の紙テープの位置に1/5，0から2個目の板の目の位置に2/5……のようにとっていくと完成。	編集の具体的方針(5)

				
182 ～183	図	変更	2ページにまたがる数直線は、数直線を分割して点 図化した。	編集の具体的方針(1)
182	5	変更	(2)の「数直線に表わしましょう。」を「分数で表 しましょう。」に変更した。	編集の具体的方針(9)
184	図	変更	□をア.～ニ.に変更した。 	編集の具体的方針(1) 指導する際は、分数の目 盛りからア.が始まるこ とを伝えるようにする。
186	図	変更	「まとめよう」の部分の式を、次のように表した。 $3/5 + 1/5 = 4/5$ $3/5 - 1/5 \text{ が } 3 \text{ こ}$ $1/5 - 1/5 \text{ が } 1 \text{ こ}$ $4/5 - 1/5 \text{ が } 4 \text{ こ}$	編集の具体的方針(1)
187	図	変更	2. の式を、次のように表した。 $4/5 - 3/5 = \square$ $4/5 - 1/5 \text{ が } \square \text{ こ}$ $3/5 - 1/5 \text{ が } \square \text{ こ}$ $\square - 1/5 \text{ が } \square \text{ こ}$	編集の具体的方針(1)
189	文	変更	4. は、色を塗ることは難しいため、印を付ける課 題に変更した。	編集の具体的方針(9)

190	写真	削除 変更	<p>写真をすべて削除し、次の文章で表した。なお、直接触って全体を捉えられない事例は、「そのように見える」という説明を追記した。</p> <p>みなさんのまわりには、三角形の形をしたものがあります。三角定規、サンドウィッチ、幼児用のバスを表すステッカーがその例です。</p> <p>建物にも三角形に見える部分があります。例えば、岐阜県美濃市にある森林総合教育センター「モリノス」や北海道稚内市の宗谷岬にある日本最北端の地のモニュメントなどは三角形に見えるように柱が組み合わされています。また、茨城県水戸市にある水戸芸術館には、三角形の金属の板をすき間なく並べてつくられた、高さ 100m のシンボルタワーがあります。</p>	編集の具体的方針(5)
191	写真	削除 変更	<p>ストローで三角形を作っている写真を削除し、ストローを表す図を、長さ と 点種 をかえて表した。</p>	編集の具体的方針(1)
191	図	変更	<p>1. の三角形の図については、触って比較しやすいように、すべての三角形の底辺が水平になるよう、向きを変更した。</p>	編集の具体的方針(1)
192	絵 図	削除	<p>教室のやりとりを表した絵を削除した。また、ゆいの考えとつばさの考えの三角形のなかま分けについては、図を削除し記号のみとした。</p>	編集の具体的方針(1) (5)
194	図	削除	<p>(1) のラビちゃんのイメージしている図を削除した。</p>	編集の具体的方針(1)
194	図	追加	<p>二等辺三角形のかき方を表した図に、次の文章による説明を追加した。</p> <p>二等辺三角形のかき方</p> <p>次の 1. ～ 3. の手順で書きます。(P〇 図 10)</p> <p>1. コンパスを広げて 4 c m を測り取り、針をイにさして上側に円の一部分をかきます。</p> <p>2. コンパスの長さを 1. のまま変えないで、針をウにさして 1. でかいた円の一部分と交わるように円の一部分を書きます。かいた二つの円の一部分が交わった点は、イとウのそれぞれの点から同じ長さ(半径)になります。</p> <p>3. 1. と 2. でかいた線が交わった点をアとして、アとイ、アとウをそれぞれ直線で結ぶと、二等辺三角形が完成します。</p>	編集の具体的方針(1) (5)
195	図	追加	<p>「算数たまたまばこ」の折り紙で二等辺三角形や正三</p>	編集の具体的方針(1)

			<p>角形をつくる手順を表す図に，次の文章による説明を追加した。</p> <p>二等辺三角形(図 14)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 折り紙を縦長半分に折ります。 2. 縦長の長方形の右上のかどと下の辺の左から3分の1辺りの点を結ぶように折り目を付けます。 3. 2. でできた斜めの折り目をはさみで切って広げると，二等辺三角形の完成です。 <p>正三角形(図 15)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 折り紙を縦長半分に折って折り目を付けます。 2. 右下のかどを1. でできた折り目の上部に合わせて，左下のかどから折り目ができるように折ります。 3. 2. で折った紙の左の斜めの線に沿って折り目を付けたら，一度全部開きます。 4. 1. と3. でできた折り目が交わった点と折り紙の右下のかどを結ぶように折り目を付けます。 5. 3. と4. でできた折り目を切ると正三角形の完成です。 	(5)
197	2	変更	1. の「右の図のイ. のかどとオ. のかどでは」を「次の図の2つの三角形のイ. のかどとオ. のかどでは」に変更した。	編集の具体的方針(1)
197	8	変更	(1)の「上の2つ三角形をかいて切り取り」を「図19の2つの三角形と同じもので，次の図21のように，5cmの辺を重ねて」に変更した。	編集の具体的方針(9) 指導する際は，直接比較できるように，原寸大の二等辺三角形を用意する。
198	1	変更	2. の「二等辺三角形と正三角形をかいて切り取り」を「次の図と同じ二等辺三角形と正三角形を用意し」に変更した。	編集の具体的方針(9) 指導する際は，直接比較できるように，原寸大の二等辺三角形を用意し，直接比較できるようにする。
199	セリフ	変更	<p>ラビちゃんのセリフを次のように変更した。</p> <p>ラビちゃん「形も大きさも同じ二等辺三角形や正三角形をたくさん準備しよう。」</p>	編集の具体的方針(9)
199	写真	削除 変更	<p>建物の写真を削除し，次のように表した。</p> <p>群馬県伊勢崎市の伊勢崎駅や東京都調布市の「武蔵</p>	編集の具体的方針(5)

			野の森総合スポーツプラザ」には、○ページの図 26、 図 27 のようなデザインが使われています。	
204	写真	削除 変更	<p>文房具などの写真及び重さ比べをしている写真を削除し、次のように表した。</p> <p>ラビちゃん「いろいろな物の重さを手に持ってくらべてみよう。」</p> <p>ゆず「ランドセルとノートを持ってみたら、やっぱり…」</p> <p>ひなた「ビーチボールとドッジボールをくらべたら、ドッジボールが小さいけれど…」</p> <p>ケン「はさみとのりの重さはほとんどかわらないように感じるよ。」</p> <p>なぎ「どうやってくらべたらいいのかな。」</p>	編集の具体的方針(5)
205	絵 3	削除 変更	<p>問題 1. の文房具の絵を削除し、文章を次のように変更した。</p> <p>はさみ、のり、消しゴム、セロハンテープ、ペンの 5 つの文房具の重さをくらべましょう。</p>	編集の具体的方針(5)
205	写真	変更	<p>天秤の写真は、簡略化して次のような点図で表した。</p> <p><u>これ以降も同様に表した。</u></p> <p>ア. イ.</p> 	編集の具体的方針(5)
206	絵	削除 変更	<p>黒板の絵を削除し、次のようにセリフを変更した上で、長さやかさ、重さを測る図を点図化した。</p> <p>りな「次の図のようにしおり 1 枚は、消しゴム 2 個分、水とうの水のかさは、カップ 9 杯分と考えたね。同じように考えると…」</p> <p>カルロス「次の図 3 のように道具と積み木を使うと…」</p>	編集の具体的方針(5)
207	写真 セリフ	削除	<p>1 円玉の写真およびラビちゃんのセリフを削除した。</p>	編集の具体的方針(5)

207	写真	削除	(6)の写真を削除した。	編集の具体的方針(5)
208～ 211	図	削除	はかりの目もりを直線で表現した図は、はかりの図で代用できるため削除した。	編集の具体的方針(1)
208	写真 2	変更	<p>1. のはかり全体を表す写真を削除し、はかりの目もりを簡略化して、次のように表した。また、はかりで測っている写真を削除したため、様子が分かるように次のように文章を変更した。</p> <p>本の重さをはかりを使ってはかります。 次の図4のようになりました。本の重さは何gですか。</p> 	<p>編集の具体的方針(1) (5) 端数の判断は、計測位置と目盛りの関係から類推するよう指導する。</p>
208	図	変更	練習問題1の図を、1. の図と同様に表した。	編集の具体的方針(1)
209	写真	削除 変更	<p>写真を削除し、はかりの使い方を、次のように文章のみで示した。</p> <p>はかりの使い方 1. 平らなところにおく。 2. はかる物をのせる前にはかりが0を正しくさしているか、たしかめる。 3. はかる物をしずかにのせる。はりが動かないようにして、目もりは正面から読む。</p>	編集の具体的方針(5)
210	1 写真	変更 削除	<p>3. の文章を、次のように変更した。また、はかりの写真は、目もりを簡略化して次のように表した。なお、はかり全体を表す写真は削除した。211ページの練習問題2も同様に示した。</p> <p>はかりで書道セットの重さをはかると次の図7のようになりました。書道セットの重さはどれだけですか。</p> 	<p>編集の具体的方針(1) (5)</p>

211	2	変更	練習問題3の「重さを表す↑をかきましょう。」を「重さに印をつけましょう。」に変更した。	編集の具体的方針(9)
211	写真 文	削除 追加	<p>「さらに考えよう」の写真を削除した。また、ここでは、2種類のはかりのどちらを使うかを選ぶことが必要なため次の文章を追加した。</p> <p>これまで、1kgまではかれるはかりと4kgまではかれるはかりの2種類を使ってきました。 かなた「クレヨンが160gだったから、筆箱は…」 れいな「どちらのはかりを使えばいいかな。」 ラビちゃん「重さの見当をつけてから、はかりをえらぶといいね。見当をつけた重さも実際はかった重さも忘れないようにメモしておこう。」</p>	編集の具体的方針(5)
212	写真	削除 変更	<p>5. の写真を削除し、次のように文章を変更した。</p> <p>そうごう的な学習の時間に大豆を使ってとうふを作ります。そこで、大豆をボールに入れて用意しました。大豆の重さをはかりましょう。</p>	編集の具体的方針(5)
212	写真	削除 変更	<p>(2)の写真を用いた説明は、写真を削除し、クレアの工夫については、次のようにセリフを追加して説明した。</p> <p>クレア「まず、からのボールをはかると110gになりました。次にそのボールに大豆を入れてはかったら、560gになりました。そして、次の図のように考えました。」</p>	編集の具体的方針(1) (5)
213	図	変更	<p>(1)の図式を、次のように表した。</p> <p>1gの□倍は、1kg 1kgの□倍は、1t</p>	編集の具体的方針(1)
213	写真	削除	「算数たまたまばこ」の成分表示の写真を削除し、ラ	編集の具体的方針(5)

		変更	<p>ビちゃんのセリフを次のように変更した。</p> <p>ラビちゃん「牛乳の成分表示には、mgが書かれているよ。ほかにも身のまわりのmgをさがしてみよう。」</p>																						
214	図	変更	<p>(2)の単位の図を、次のように表と文章で表した。</p> <p>表 単位の関係</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>長さ</td> <td>mm</td> <td>cm</td> <td>—</td> <td>m</td> <td>km</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>かさ</td> <td>mL</td> <td>—</td> <td>dL</td> <td>L</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>おもさ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>g</td> <td>kg</td> <td>t</td> </tr> </table> <p>長さ</p> <p style="margin-left: 40px;">1 mm の□倍— 1 cm</p> <p style="margin-left: 40px;">1 cm の□倍— 1 m</p> <p style="margin-left: 40px;">1 mm の□倍— 1 m</p> <p style="margin-left: 40px;">1 m の□倍— 1 km</p> <p>かさ</p> <p style="margin-left: 40px;">1 mL の□倍— 1 dL</p> <p style="margin-left: 40px;">1 dL の□倍— 1 L</p> <p style="margin-left: 40px;">1 mL の□倍— 1 L</p> <p>おもさ</p> <p style="margin-left: 40px;">1 g の□倍— 1 kg</p> <p style="margin-left: 40px;">1 kg の□倍— 1 t</p>	長さ	mm	cm	—	m	km	—	かさ	mL	—	dL	L	—	—	おもさ	—	—	—	g	kg	t	編集の具体的方針(1) 単位の表については、—で表されている部分にもcLなどもあることを伝えてもよい。
長さ	mm	cm	—	m	km	—																			
かさ	mL	—	dL	L	—	—																			
おもさ	—	—	—	g	kg	t																			
216	写真	削除 変更	<p>「学んだことを生かそう」の粘土の写真を削除し、次のように表した。</p> <p style="margin-left: 40px;">100 g の粘土の重さをはかるときに、粘土を小さくいくつかに分けたり、細長い形や丸い形など形をかえてみたりすると、重さは変わるでしょうか。</p>	編集の具体的方針(5)																					
217	写真 絵	削除	<p>「なるほど算数教室」の写真や絵を削除した。ただし、分銅のみ簡略化して点図にした。</p>	編集の具体的方針(5) 上皿天秤や分どうは、実物を触察した上で、文章の内容を確認すると理解が深まる。																					
218	絵	削除 変更	<p>プログラムについては、プログラムの画面を削除し、次のように表した。</p> <p style="margin-left: 40px;">めいれいは、カギかっこの中の文章のことです。命令の後の文章は、その命令の意味です。</p>	編集の具体的方針(1) (5)																					

			<p>(1)「旗マークをおしたとき」 (4マスあけ)旗マークを押すと始まる。</p> <p>(2)「mm で表したいのは何cmと聞く。」 何cmをmmで表したいかを質問する。</p> <p>(3)「変換後を(入力した数)×10にする。」 cmの単位の長さを入力してチェックを押すとmmで表す。</p>	
221	絵	削除 追加	<p>1. の絵を削除し、次のように表した。</p> <p>なぎさんとひなたさんは、にわとり鳥小屋をみています。</p> <p>朝 なぎ「ひよこが15羽いるよ。」 ひなた「小屋にたまごがあるよ。」</p> <p>昼 たまごからひなが生まれました。</p> <p>夕方 なぎ「朝よりふえたね。」 ひなた「たまごがかえったんだね。」</p>	編集の具体的方針(5)
221	図	削除	<p>ゆいの考えの図は、同じような図が次に出てくるため削除した。</p>	編集の具体的方針(1)
222	1	変更	<p>求める数となる□は、児童がノートに書けるよう、(フ)と置き換えた。</p> <p><u>これ以降、この単元では、求める□は(フ)とする。</u></p>	編集の具体的方針(8)
222	図	変更	<p>線分図については、全体の数を先に把握できるように上下を入れ替えて示した。</p>	編集の具体的方針(4)
222	図	削除 変更	<p>(2)について、ゆうとの考えの図を削除し、次のように前掲の図1を活用する文章に変更した。なお、ゆうとの考え、クレアの考えは、それぞれ次のように表した。</p> <p>ゆうとの考え 図1を調べると、全部の数は21羽ではじめの数は15羽なので、$21 - 15 = 6$</p> <p>クレアの考え (フ)に数を当てはめていくと・・・ $15 + 4 = 19$ $15 + 5 = 20$ $15 + 6 = 21$</p>	編集の具体的方針(1)

			<p>ラビちゃんの考え</p> $15 + (\text{フ}) = 21$ $(\text{フ}) = 21 - 15$	
225	図文	削除 変更	<p>(2)について、りなの考えの図を削除し、次のように前掲の図4を活用する文章に変更した。それぞれの考えは次のように示した。</p> <p>りなの考え</p> <p>図4を調べると、代金は42円で6個買ったから、1個分は、$42 \div 6 = 7$</p> <p>つばさの考え</p> <p>(フ)に数を当てはめていくと・・・</p> $5 \times 6 = 30 \quad 6 \times 6 = 36 \quad 7 \times 6 = 42$ <p>ラビちゃんの考え</p> $(\text{フ}) \times 6 = 42$ $(\text{フ}) = 42 \div 6$	編集の具体的方針(1)
229	図	変更	<p>「学んだことを生かそう」では、図の中のどの□に(フ)が入るかも問われているため、(フ)ではなく、すべて□で表した。</p>	編集の具体的方針(1)
230～ 231	絵	削除 変更	<p>音楽ホールの長椅子の様子を削除し、次のように表した。</p> <p>音楽ホールに長椅子が横に3台縦に10台並んでいます。1台の長椅子に4人座っています。 黒板に書いてある問題を見ながら話し合っています。</p>	編集の具体的方針(5) (6)(7)
231	1	追加	<p>そろばんと関係付けて学習することを強調するために、次の文章を追加した。</p> <p>この単元では、珠算編2の「2かけ算 かけ算(2)」を使って、そろばんでの計算の仕方を考えよう。</p>	編集の具体的方針(6) (7)
231	セリフ	削除	<p>(2)のラビちゃんのセリフを削除した。</p>	編集の具体的方針(9)
232	図	追加 変更	<p>教室のやりとりの状況を説明する文章を挿入した。</p> <p>「ゆいさん、ゆうとさん、先生が、黒板に貼られたりなさんとつばささんの考えを見ながら話し合っています。」</p> <p>りなとつばさの考えで用いられた図は、長いす1台</p>	編集の具体的方針(1)

			のまとまりと、大きなまとまりの両方を囲みで表現されている、点図で2つの囲みを表現すると図が大きくなり、扱いにくい見開き表現となるため、大きなまとまりのみ裏点の線で表した。	
233	図	削除 変更 追加	児童と先生のやりとりの様子の絵を削除し、状況を説明するために「つばささん、クレアさんが次のア.イ.の問題について話し合っています。」を追加した。 また、りなの考えやつばさの考えでは、かたまりを横方向でとらえられるよう、横に3脚、縦に10台とした。	編集の具体的方針(1)
234	図	変更	12×23の図式を、次のように表した。 12×23の計算の仕方 12×23の23を20と3に分ける。 12×20=240 12×3=36 それぞれの式の答えの240と36をたすと□になる。 12×23=□	編集の具体的方針(1)
234	筆算	削除 変更	筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。 12×23の計算の仕方 (1)はじめに10の位から計算します。 1・2が 2で200 1・3が 3で30 (2)次に、1の位の計算をします。 2・2が 4で40 2・3が 6で6 (3)(1)(2)を合わせて 200+30+40+6=276 (4)12×23=276	編集の具体的方針(6)
235	図	変更	82×64の図式を削除し、次のように表した。 82×64の計算の仕方 82×64の64を60と4に分ける。 82×60=□ 82×□=□ それぞれの式の答えの□と□をたすと□になる。 82×64=□	編集の具体的方針(1)
235	筆算	削除 変更	筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。 82×64の計算の仕方 (1)はじめに10の位から計算します。 8・6 48で4800	編集の具体的方針(6)

			$8 \cdot 4 \quad 32$ で 320 (2)次に、1の位の計算をします。 $2 \cdot 6 \quad 12$ で 120 $2 \cdot 4$ が 8 で 8 (3)(1)(2)を合わせて $4800 + 320 + 120 + 8 = 5248$ (4) $82 \times 64 = 5248$	
236	図	変更	214×34 の図式を削除し、次のように表した。 214×34 の計算の仕方 214×34 の 34 を 30 と 4 に分ける。 $214 \times 30 = 6420$ $214 \times \square = \square$ それぞれの式の答えの 6420 と \square をたすと \square になる。 $214 \times 34 = \square$	編集の具体的方針(1)
236	筆算	削除 変更	筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。 214×34 の計算の仕方 (1)はじめに 100 の位から計算します。 200×34 で 6800 (2)次に、10の位の計算をします。 10×34 で 340 (3)次に、1の位を計算します。 4×34 で 136 (4)(1)(2)(3)を合わせて $6800 + 340 + 136 = 7276$ (5) $214 \times 34 = 7276$	編集の具体的方針(6)
237	図	変更	「発見！」の図式を、次のように表した。 $3 \times 2 = 6$ $3 \times 20 = 60$ 2 を 10 倍すると 20 6 を 10 倍すると 60	編集の具体的方針(1)
237	図	変更	(2)の図式を、次のように表した。 $3 \times 2 = 6$ $30 \times 2 = 60$ 3 を 10 倍すると 30 6 を 10 倍すると 60	編集の具体的方針(1)
238	筆算	変更	1.(1)の筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。 38×70 の計算の仕方	編集の具体的方針(6)

			りな (1) $38 \times 7 = 2660$ (2) $38 \times 0 = 0$ $2660 + 0 = 2660$ つばさ (1) 1の位の0は計算しないで、 7×38 の計算をしたあとで0をつける。	
238	筆算	変更	2. (1)の筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。 4×78 の計算の仕方 カルロス (1) $4 \times 70 = 280$ (2) $4 \times 8 = 32$ $280 + 32 = 312$ ゆい (1) $70 \times 4 = 280$ (2) $8 \times 4 = 32$ $280 + 32 = 312$	編集の具体的方針(6)
240	筆算	変更	「しっかりチェック」の②を「 31×23 の計算の仕方を、□にあてはまる数を入れながら説明しましょう。」とし、次のように表した。 (1)はじめに10の位から計算する。 $3 \cdot 2$ が□で□ $3 \cdot 3$ が□で□ (2)次に1の位を計算する。 $1 \cdot 2$ が□で□ $1 \cdot 3$ が□で□ (3)(1)(2)を合わせて□ (4) $31 \times 23 = \square$	編集の具体的方針(6)
240	図	変更	「たしかめ問題」3の①②を、次のように表した。 ① $2 \times 9 = 18$ $2 \times 90 = \square$ 9を□倍すると90 18を□倍すると□ ② $8 \times 4 = 32$ $80 \times 4 = \square$ 8を□倍すると80 32を□倍すると□	編集の具体的方針(1)
241	筆算	変更	5. 筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。	編集の具体的方針(6)

			<p>35×47 の計算の仕方 35×47 の答えは、35×□の答えと、35×□の答えを合わせた数です。 計算の仕方 ア. 35×40 を計算します。 イ. □×□を計算します。 ウ. ア. とイ. を合わせます。</p>	
246	写真	削除 変更	<p>児童用机でそろばんを使っている写真を削除し、そろばんの各部の名称を説明する写真は簡略化して点図で示した。</p> <p>練習問題1「次の数を読みましよう」の問題は、「次の数をそろばんに入れましよう」に変更した。</p>	編集の具体的方針(1)
250	図	削除	「3年のふくしゅう」11の時計の図を削除した。復習問題なので、頭に時計を思い浮かべて解いてもらいたい。	編集の具体的方針(1)
252	図	変更	<p>プラスワン1イ. の図式を、次のように表した。</p> <p>① 7×8の7を2と□に分ける。 $2 \times 8 = 16$ $\square \times 8 = \square$ それぞれの式の答えを足すと□</p> <p>② 9×9のかける数の9を3と□に分ける。 $9 \times 3 = 27$ $9 \times \square = \square$ それぞれの式の答えを足すと□</p>	編集の具体的方針(1)
252	図	変更	<p>プラスワン1エ. の図式を、次のように表した。</p> <p>① 5×16の16を□と6に分ける。 $5 \times \square = \square$ $5 \times 6 = \square$ それぞれの式の答えを足すと□</p>	編集の具体的方針(1)
253	グラフ	変更	プラスワン3ヌ. のグラフについて、表題、縦の数値や単位、横の名前は入れた状態とし、棒グラフに表わすことだけを問うこととした。	編集の具体的方針(1) (2)
254	図	削除	プラスワン4の時計の図を削除した。復習問題なので、頭に時計を思い浮かべて解いてもらいたい。	編集の具体的方針(1)
262	図	変更	<p>プラスワン17リ. の図式を、次のように表した。</p> <p>① $7 \times 5 = 35$ かける数の5を□倍すると50になり、答えも□倍になる。 $7 \times 50 = \square$</p> <p>② $3 \times 6 = 35$ 3を□倍すると300になり、6を□倍すると60にな</p>	編集の具体的方針(1)

			り，答えは□倍になる。 $300 \times 6 = \square$	
--	--	--	---	--